

産業廃棄物処理計画書	
令和元年 5月 9日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 安城市今本町8丁目9番地12	
氏 名 三神設備株式会社	
代表取締役 神谷 順二	
電話番号 0566-97-9265	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	三神設備株式会社
事業場の所在地	安城市今本町8丁目9番地12
計画期間	平成31年4月1日 ～ 令和 2年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	08：設備工事業
② 事業の規模	元請完成工事高： 729,451,000円
③ 従業員数	12人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・がれき類→再生処理業者に委託し、再生骨材・路盤材として再資源化、又は安定型埋立処分 ・汚泥→中間処理業者に委託し脱水・中和後、再生処理業者で砂利再生土として再資源化 ・金属くず→中間処理業者に委託・売却。選別・圧縮後、再生処理業者で再生金属材として再資源化 ・混合物、廃プラスチック類→中間処理業者に委託し選別・再資源化後、中間処理業者から最終処分業者に委託し安定型埋立処分 ・木くず→再生業者に委託し、木材チップとして再資源化、 ・紙くず→中間処理業者に委託し選別後、紙成形材料として再資源化 ・ガラス・陶器くず→中間処理業者に委託し選別後、再生路盤材・石膏ボード原料として再資源化 ・石綿含有物（混合物・廃プラスチック）→最終処分業者に委託し、管理型埋立処分 ・廃アルカリ→中間処理業者に委託し脱水・中和、油水分離後、最終処分業者に委託し管理型埋立処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 工事部 (廃棄物処理総括責任者) 現場代理人 (廃棄物処理責任者) 総務部 マニフェスト管理			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (平成 30 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	※ 別紙Aの通り	
	排 出 量		
	(これまでに実施した取組) 包装紙 (ダンボール) の再資源 (リサイクル) 業者処理		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	※ 別紙Aの通り	
	排 出 量		
	(今後実施する予定の取組) 再資源化の促進に努める		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、金属くず、紙くず、廃プラスチック類はそれぞれ分別		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合物を可能な限り分別するよう努める		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	—	—
	（これまでに実施した取組） 実施していない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	—	—
	（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	—	—
	（これまでに実施した取組） 実施していない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	—	—
	（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—
	（これまでに実施した取組） 実施していない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—
	（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※ 別紙Bの通り	
	全 処 理 委 託 量		
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量		
	再生利用業者への処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量		
	（これまでに実施した取組） 特になし		

② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	※ 別紙Bの通り
	全 処 理 委 託 量	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	
	(今後実施する予定の取組)	
	委託先処理業者には定期的に実地確認する。	
※公共工事の受注（工事内容）状況により大きく変動する場合あり。		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

<別紙A（様式第二号の八（第八条の四の五関係）（第2面））>

産業廃棄物の排出抑制に関する事項

①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	がれき類安定型	混合物	石綿含有廃プラスチック管理型	石綿含有混合物管理型	合計
	排出量	15.719	1.430	21.735	0.090	5.915	40.810	13.000	1604.240	0.000	170.000	0.000	0.000	1872.939

（これまでに実施した取組）
（第2面）に同じ

②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	がれき類安定型	混合物	石綿含有廃プラスチック管理型	石綿含有混合物管理型	合計
	排出量	11.994	0.477	31.710	0.240	6.442	49.540	5.901	928.825	174.667	171.333	0.002	6.334	1387.465

（今後実施する予定の取組）
（第2面）に同じ

<別紙B（様式第二号の八（第八条の四の五関係）（第4・5面））>

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	がれき類安定型	混合物	石綿含有廃プラスチック管理型	石綿含有混合物管理型	合計
	全処理委託量	15.719	1.430	21.735	0.090	5.915	40.810	13.000	1604.240	0.000	170.000	0.000	0.000	1872.939
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000	1.430	12.565	0.090	2.915	0.000	13.000	0.000	0.000	118.000	0.000	0.000	148.000
	再生利用業者への処理委託量	2.750	0.000	0.000	0.000	3.000	0.000	0.000	1604.240	0.000	0.000	0.000	0.000	1609.990
	認定熱回収業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	優良認定処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（これまでに実施した取組）
（第4面）に同じ

②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	がれき類安定型	混合物	石綿含有廃プラスチック管理型	石綿含有混合物管理型	合計
	全処理委託量	11.994	0.477	31.710	0.240	6.442	49.540	5.901	928.825	174.667	171.333	0.002	6.334	1387.465
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000	0.477	14.980	0.240	1.045	0.301	5.734	0.345	0.000	133.000	0.000	1.667	157.789
	再生利用業者への処理委託量	0.917	0.000	0.000	0.000	5.397	0.000	0.000	928.480	0.000	0.000	0.000	0.000	934.794
	認定熱回収業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	優良認定処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（今後実施する予定の取組）
（第5面）に同じ